札幌社保協 FAXニュース

２００９年　５月２０日(水)
社保協事務局　発行
TEL823-0867　Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

札幌社保協総会は6/25です

障がい者交通費助成の改悪
「現行制度の事業規模を維持」にはなったが・・・・

札幌市障がい福祉課は5/17･１８の両日、障がい者交通費助成の「見直し」について意見交換会を開催しました。17日は約100人、18日は約60人が参加しました。

「見直し案」の見直しの骨子は、
●現行制度の事業規模を維持、●障害程度の重い方は現行制度と同じような内容、●タクシー券、ガソリン券の交付対象を拡大(中度の助成は重度より低額)、●ウィズユーカードの助成額を身体・知的障がい者は減額、精神障がい者は増額、●定期券助成を廃止、というものです。

1年余りの反対運動により、昨年出された福祉乗車証の廃止等という提案からはだいぶ変わりましたが、未確定部分も多くあります。福祉パスを残す、精神障害者3級の改善などは評価できるものですが、予算の規模を現行から変えないため、身体・知的の中度障がい者の所の助成を削る、定期券を廃止するということでまかなう計画です。市は具体案を6月中にまとめて市議会へ説明を行う予定です。

眼科患者会で学習会－連絡会加入を決める

勤医協札幌病院眼科患者会「ひとみの会」は、5/16に障がい者交通費助成改悪について知ろうと、学習会を開催し15人が参加しました。障がい者交通費助成削減に反対する連絡会の江刺誠一さん(視力障がい者)が、改悪内容と、反対運動の経過などを説明し、参加者に協力を訴えました。

参加者には初めてまとまって話を聞いたという人が多くいました。参加した眼科の田宮医師から「ひとみの会はタクシー券の拡充でかつて大きな運動をした経験を持っている。今回の改悪を許したら大変だ」という呼びかけもあり、会として連絡会の加入も決め、署名も強めることを確認しました。

生活保護母子加算全廃は不当です　19人が不服審査請求

09年度から生活保護母子加算が全廃されたことに対し、5/15に道生連の支援を受けた19人が道庁へ不服審査請求を提出しました。

札幌・小樽・北見・苫小牧の19人から、小樽の佐賀光江さん(生存権裁判原告)が代表で参加し、審査請求書を提出しました。

記者会見には裁判弁護団事務局長の中島弁護士も同席しました。マスコミ各社の質問に、佐賀さんは「中学、高校など3人の子供がいます。部活動などの費用もかかり、食べ盛りの子どもの食費もかかります。自分の食事を削っています。これ以上何を削ればいいんでしょうか。家族みんなで笑って暮らせるようにしてほしいです」と訴えました。

＝＝介護される人もする人も笑顔になれるような介護制度を！＝＝

★「介護110番」 電話 0120－59－1165(イイロウゴ)　**5月28日(金)** 10時～19時

★介護現場の実態を明らかにする市民集会

5月30日(土) 14時～17時　建設会館9階大ホール(西武デパートとなり)

現場からの報告、事業所・労働者調査の結果報告－川村 雅則 北海学園大学准教授

コメンテーター　日下部 雅喜さん(福祉介護オンブズマンネットおおさか事務局長)